

○小人國此國東方にあり身の長さ九寸一尺五寸と云ふは此國に鶴も人より小く鳥のつち小くおとれてはひやうひやうと云ふは此國のさななからゆくと云ふ○長人國はひやう明吹の風吹かすはひやう吹かすまてはひやう島にゆるゆる人の長一丈余ありて水とわたりてあり

頭書増補訓蒙圖彙卷之五

身體
此部は耳目鼻口毛髮頭足のきこひ
とて人乃身のうれ事あり

○頭頂額碎谷額額輔車領頸結喉このかゝる鬚黒子黒痣皺をさす首同口吻明り小くうちとあり唇がららば人中へさるのたれを鬚いあらと○目眼の肝の臟のつらとるふより睛眸眶眼外皆内皆眇翳淚雀目近視瞽眼○耳の腎のつらとるふと



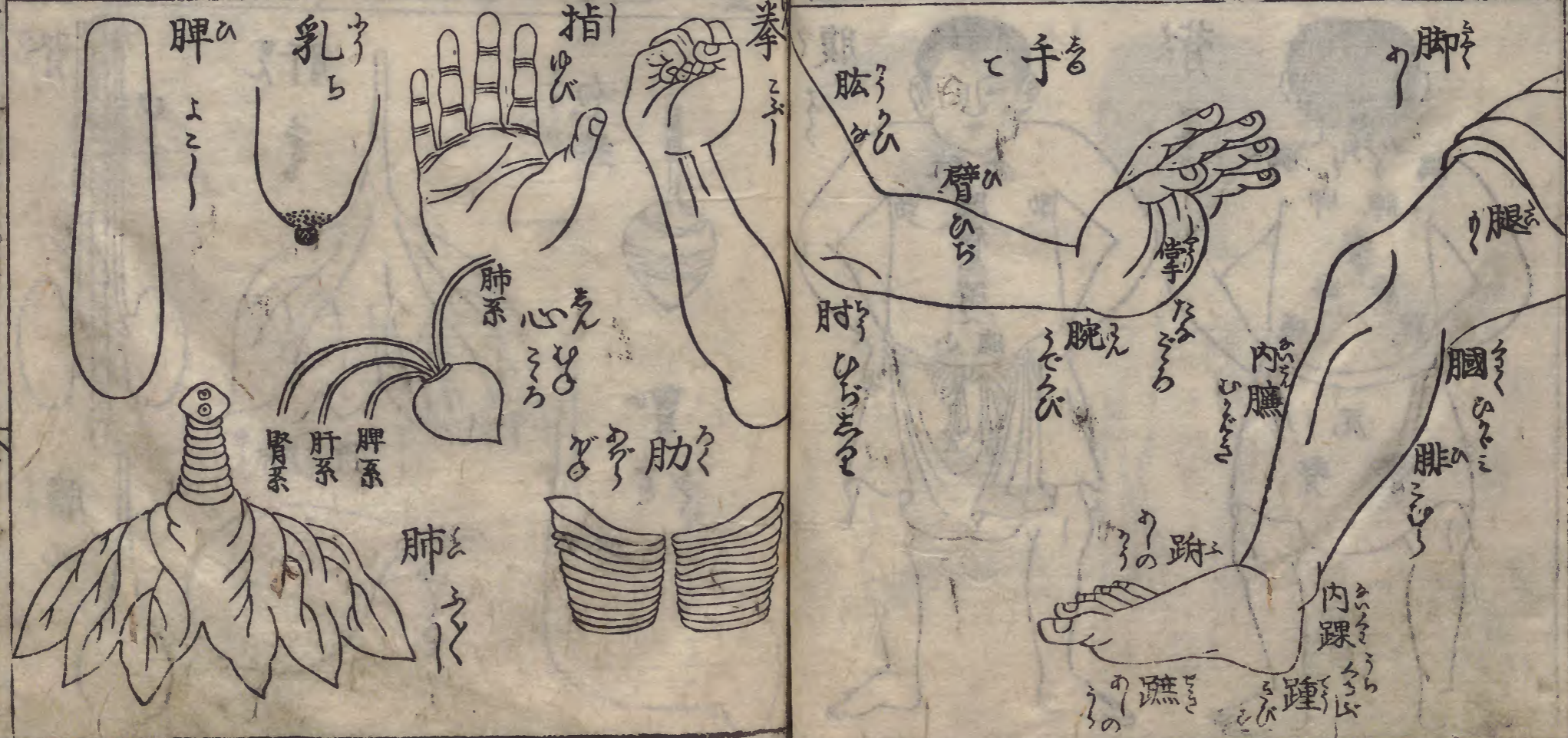
頭書増補訓蒙圖彙五

輪廓の垂珠を
 乃び耳門のの完
 骨ののの町睥
 を睥耳のの聾
 みまひ
 〇鼻の肺のつら
 かつ頭をから鼻
 同準るをた鼓鼻
 くらをを洩るを血
 〇眉の目をつら
 〇歯の骨ののり腎の
 〇舌の舌ののり腎の
 〇髪は頭髪あり胎髪
 〇鬚は顔の釋名小秀あり
 物成て秀人成て鬚生
 〇髭は字彙に髭は口上
 の毛と髭といふ下はの
 〇同髭はのの蟬髭はつと
 〇助の絡脈なり肝の臓



須髭の曾補川景圖彙五

のつらき筋ゆき
 醋とのろを筋ゆき
 ○毛の血のわきり多き毫
 同肺のつらき筋ゆき
 旋毛つらき皮を層をえ
 鎖をえ
 ○顔の頭骨多き顛會を
 頭のつらき筋ゆき
 骨の内核なる散同髓
 かのわが節ふり
 ○腹鉄盆胸肋鳩尾
 脐小腹乳肚前陰
 莖陰囊脂似多り
 ○背項肩膊胛胸腰
 ○手掌のつらき筋ゆき
 たむさうで臂のつらき筋ゆき
 ひらき筋ゆき
 ○脚足同膝のつらき筋ゆき
 膝のつらき筋ゆき
 脚のつらき筋ゆき
 のつらき筋ゆき
 ○指大指小指中指のつらき筋ゆき
 指のつらき筋ゆき
 ひらき筋ゆき
 つらき筋ゆき
 ○拳の手と屈のつらき筋ゆき
 拳のつらき筋ゆき
 ○乳説文ふ人印のつらき筋ゆき
 乳のつらき筋ゆき
 女婦のつらき筋ゆき



頁三十四
 神書
 神書
 神書

腑臓

○心は五臓のうちにして一身の主なり胸のあごにあり色は赤く尖り
 ○肺は五臓のうちより胸のあごにあり蓮花と云ふ六葉兩耳あり孔ありてよく声をいひ痰を生じ色は白く金なり
 ○脾は五臓のうちより土なり腹の中腕ふあり
 ○腎は五臓のうちより腰にあり水なり色は黒く命門あり
 ○肝は五臓のうちより右あり命門あり

○肝は五臓のうちより右あり命門あり
 ○脾は五臓のうちより土なり腹の中腕ふあり
 ○腎は五臓のうちより腰にあり水なり色は黒く命門あり
 ○心は五臓のうちにして一身の主なり胸のあごにあり色は赤く尖り
 ○肺は五臓のうちより胸のあごにあり蓮花と云ふ六葉兩耳あり孔ありてよく声をいひ痰を生じ色は白く金なり



頁字曾補川按圖兼五

色わを七葉のを竟のくくあなり。膽肝の臓の腑あり肝の下に五
 膽の腑ありといふは瓜生を。小腸心の臓の腑あり色あり小便
 こもよりついで膀胱ふぶるあり。大腸肺の腑あり。胃脾の腑あり食
 十六廻り色あり。大腸ふとをくをぶらなり。包絡心包絡あり命門
 物瓜脾よりほして大腸ふとをくをぶらなり。包絡心包絡あり命門
 の下右腎の上の心包絡とくその腑と三焦との。膀胱腎の臓の腑
 かの小便ぬくろり水分の元く氷穀分りて穀大腸へゆれ水膀胱
 へゆりあり

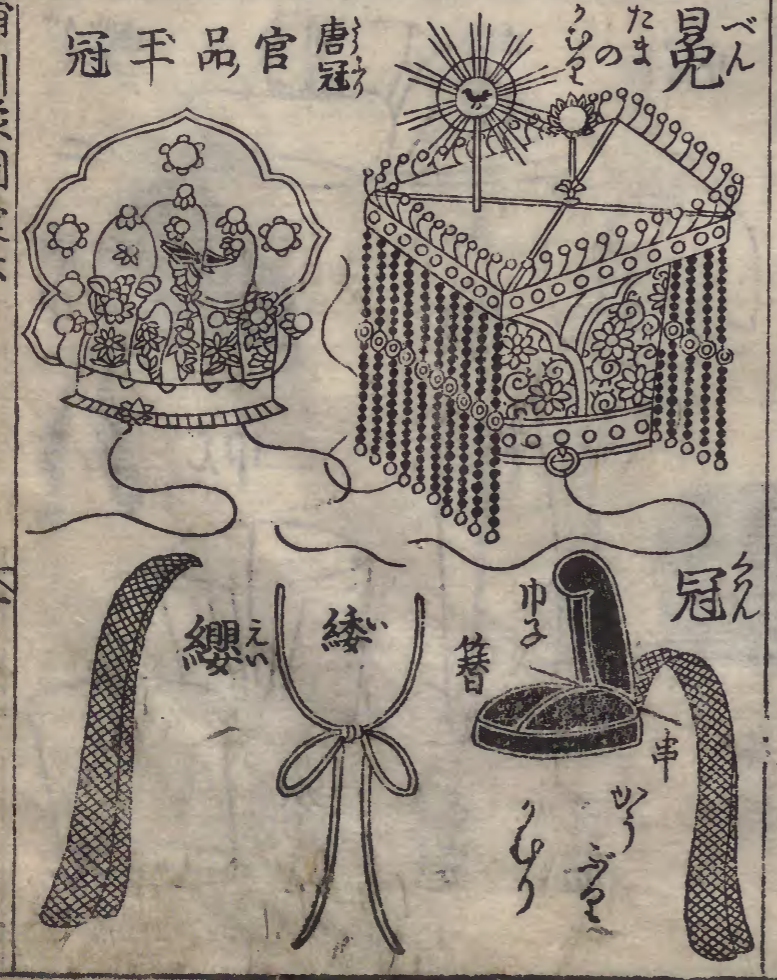
○臟腑心肝腎肺脾と五臟とく小腸大腸胃膀胱三焦膽と六腑と
 けり。胞胎くくごりあり五臟論ふ曰一月珠露のごく二月桃花のごく
 一三月の男女くく四月の形象をくく五月の筋骨がくく六月の毛髮生を
 七月のその意ひあをくく八月のその鬼とあをくく
 九月のその鬼とあをくく十月のその鬼とあをくく

頭書増補訓蒙圖彙卷之六

衣服

此部は衣裳冠帯とく
 きり物のをくあり

○冕の冠は天子の冠なり十二流有
 希はるくたたるにわらわきまき
 たり。冠の冠は天子の冠なり十二流有
 希はるくたたるにわらわきまき
 たり。冠の冠は天子の冠なり十二流有
 希はるくたたるにわらわきまき
 たり。



頭書増補訓蒙圖彙